



北鎌倉 葉祥明美術館

絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し考え・感じてみてください。

*葉祥明さんの作品には、観る人が入り込む「余地」があります。
絵の中に風や空気、太陽の暖かさを感じながら、ゆっくりと静かに鑑賞してみましょう。

●北鎌倉 葉祥明美術館は『それ自体が一冊の美しい絵本』



・画家で詩人のお父さんとお母さん。10才の●●ちゃんと5才のクロード君の家族4人が住んでいたという物語をコンセプトにたてられました。10才の子の名前は何でしょう。(ヒント:開館当初お庭に同じ名前の木が植えてありました)

・美術館の構想、内装、家具など葉祥明さん自身が考えレイアウトしました。絵画だけでなく、美術館の空間自体が葉祥明さんの感性による作品です。
あなたはどの部屋が一番好きですか?

●館内には葉祥明さんが手がけた沢山の出版物があります。絶版の作品や、今ではなかなか手に入らない作品も読むことができます。

・葉祥明さんのデビュー作はなんでしょう。

・葉祥明さんの作品の多くには「平和」への想いが込められています。絵本でも反戦や環境問題などの社会問題をテーマにした作品があります。
あなたはどのテーマの絵本に関心がありますか。



*葉祥明さんが絵や文章を手がけたオリジナルの作品だけで約300冊を、装幀や挿絵など関わった刊行物、新聞や雑誌を合わせると1000以上になります。1973年にはじめての絵本を発表してから50年以上。まだまだ新しい作品を生み出しています。

●中央に描かれた赤みがかった太陽、そしてその外側にある白い半円もまた太陽を表している神秘的な不思議な絵です。葉祥明作品の中で一番大きな作品です。



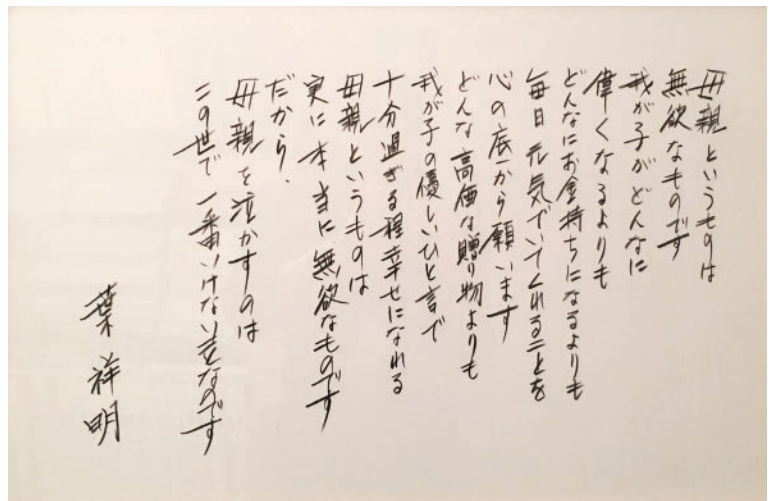
・作品のタイトルは何でしょうか。

・葉祥明さんの絵は空や大地、時には海中や宇宙などどのような場面でも画面に広がる空間が特徴的です。以前、アンパンマンの作者のやなせたかしさんに「葉君は ●●を描く数少ない人」と評されました。何を描く作家と言われたのでしょうか。

●葉祥明さんは絵本作家や画家以外にも、詩人としても活躍しています。

この「母親というものは」の詩は両親の金婚式にお母さんに向けて詠んだものです。多くの人の心に響くこの言葉はベストセラー小説で引用されるなど、感動の連鎖をよんでいます。

・右の作品でも使用されている、葉祥明さんが言葉をかき際に使用する画材は何でしょうか。（葉祥明さんが青年の頃に憧れたイラストレーター穂積和夫さんの作品をきっかけに使用をはじめました。）



・美術館には「言葉の部屋」があります。葉祥明が綴る短い言葉の直筆が展示されています。今、あなたの心に響く言葉は何ですか。

*葉祥明さんの作品には、観る人が入り込む「余地」があります。絵でも言葉でも、作品を自分の中に感じることで感覚や感性が磨かれるかもしれません。また来て下さい。今あなたに響いた言葉や作品は、次に来たときには違うものを感じるかもしれません。その時の自分と、葉祥明さんの作品をとおして対話しながら鑑賞してみましょう。